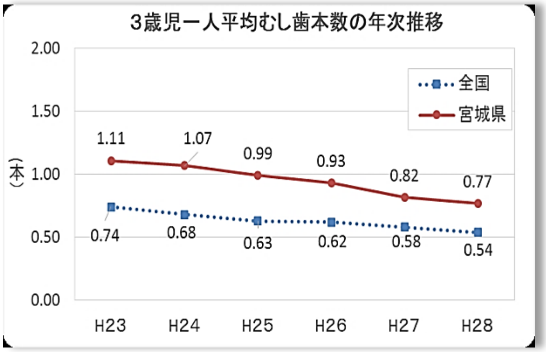
宮城県の歯科口腔保健の現状について

妊産婦期・乳幼児期

（概ね5歳まで）

達成指標	ベースライン値	宮城県（最新値）	全国値（最新値）	目標値
３歳児の一人平均むし歯本数	０．８２本（Ｈ２７）	**０．７７本（Ｈ２８）**	０.５４本（H28：地域保健・健康増進事業報告）	０．５８本以下
３歳児における むし歯のない人の割合	７７．１％（Ｈ２７）	**７９．３％（Ｈ２８）**	８４．２％（H28：地域保健・健康増進事業報告）	９０％以上

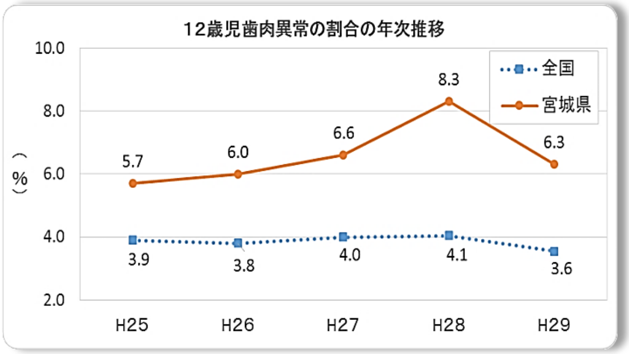
○３歳児の一人平均むし歯本数は，減少傾向にあり，全国との差は縮小したものの，依然として多い。
○３歳児におけるむし歯のない人の割合は，年々増加しているが，全国値より低い状況にある。

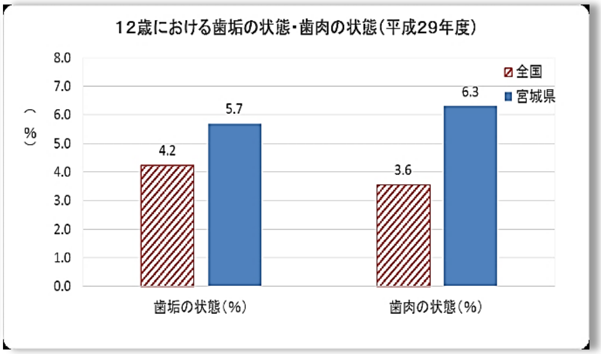


学童期・思春期

（概ね6歳～18歳まで）

達成指標	ベースライン値	宮城県（最新値）	全国値（最新値）	目標値
１２歳児の一人平均むし歯本数	１．２本（Ｈ２８）	**１．１本（Ｈ２９）**	０.８本（H２９：学校保健統計）	０．８本以下
１２歳児における むし歯のない人の割合	５７．４％（Ｈ２８）	**５８．８％（Ｈ２９）**	６５．１％（H２９：学校保健統計）	６５．０％
１２歳児における 歯肉に異常のある人の割合	８．３％（Ｈ２８）	**６．３％（Ｈ２９）**	３.６％（H２９：学校保健統計）	４．１％以下





○１２歳の一人平均むし歯本数は，減少しているものの，全国値と比べると高い。
○歯肉に異常のある人の割合が，全国値と比べて多い状況が続いている。（**４７都道府県中４６位**）
○１２歳における歯垢の状態が悪いことから，歯みがきが正しく行われておらず，歯肉炎に繋がっている可能性が高い。

壮　年　期

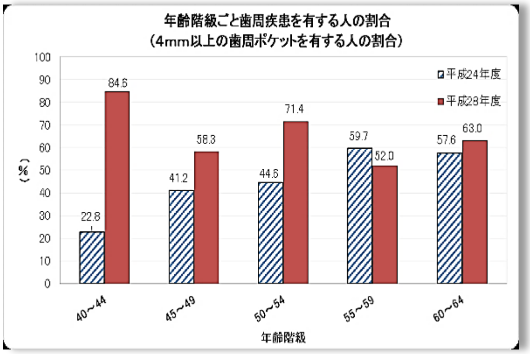
（概ね40歳～64歳まで）

達成指標	第１期計画 ベースライン値	第２期計画 ベースライン値	宮城県 （最新値）	目標値
進行した歯周病（４㎜以上の歯周ポケットを有する人）の人の割合	４５．０％ （Ｈ２４）	６３.７％ （Ｈ２８）	**６３．７％** **（H28：宮城県歯と口腔の健康実態調査）**	４０％以下
６０歳で２４本以上歯を保持する割合	３８．６％ （Ｈ２２）	５４.３％ （Ｈ２８）	**５４．３％** **（H28：県民健康・栄養調査）**	７０％以上

○進行した歯周病の割合は，４０代，５０代の５割以上が歯周疾患を有しており，特に４０代の増加が顕著である。

○進行した歯周病の割合は，第１期ベースライン値と比べて１８．７ポイント増加し，悪化している。

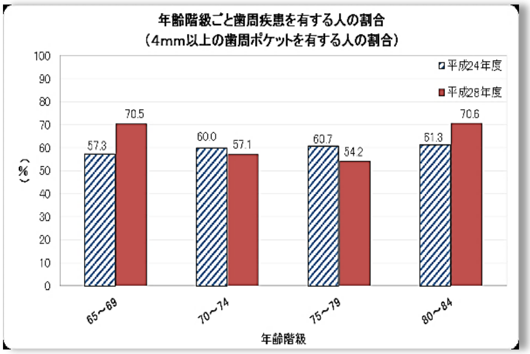
○６０歳で２４本以上自分の歯を保持する人の割合は，第１期計画ベースライン値と比べて増加している。



高　齢　期

（概ね65歳以上）

達成指標	第１期計画 ベースライン値	第２期計画 ベースライン値	宮城県 （最新値）	目標値
進行した歯周病（４㎜以上の歯周ポケットを有する人）の人の割合	６３．５％ （Ｈ２４）	６３.３％ （Ｈ２８）	**６３．３％** **（H28：宮城県歯と口腔の健康実態調査）**	５５％以下
８０歳で２０本以上歯を保持する割合	３１．８％ （Ｈ２２）	３９.８％ （Ｈ２８）	**３９．８％** **（H28：県民健康・栄養調査）**	５０％以上

○進行した歯周病の割合は，第１期計画ベースライン値と比べて変化は見られなかった。

○８０歳で２０本以上の歯を保持する割合は，第１期計画ベースライン値と比べて増加している。